

算命学中庸

【初年】 64 回目

64 回目の授業はこのページからです。

授業科目 【天中殺の心得】（2）

・【初年】 64 回目【天中殺の心得（2）】 01

□ 天中殺の心得（2）

- ① 夫婦の天中殺。
- ② 天中殺の結婚。
- ③ 夫か妻の天中殺のときの心持ち。
- ④ 夫婦が同一中殺。
- ⑤ 天中殺の浮気（不倫）。
- ⑥ 別れた配偶者の天中殺とその影響。

私たちの生活に必要な太陽は 2000 億個も集まって構成されている「銀河系」のなかの 1 つの小さな星です。

銀河系は円盤のような形状をして、中心部は少し膨らんでいます。

銀河系の端^{はし}から端^{はし}まで横切るのに、光の速度（光年）でも 10 万年以上もかかるといわれています。

太陽系は銀河系の円盤部の端^{はし}から、2 万光年（中心から 3 万光年）の場所にあるようです。

私たちが住む地球は、太陽系（太陽を中心に 9 つの惑星と小天体の仲間からなる総称）の一員です。

現在のところ、生命の存在が確認されている惑星は地球だけです。

地球上に生命ができるには「気」が作用していると算命学は考えています。

「気」は宇宙の気「天気」と地球の気（地気）があり、その「気」を干支で表したのが「六十干支」になります。

宇宙の気「天気」五行・十干 }
地球の気（地気）十二支 } 六十干支

自然界を分類して「六十干支^{ろくじゅうかんし}」を考えだしました。
「天気」は五行・十干になり、（地気）は十二支になり、その最小公倍数^{さいしょうこうばいすう}が60になります。

「六十干支」を基にして〔60年ごと〕〔60ヶ月ごと〕
〔60日ごと〕に循環する^{こよみ}暦をつくりました。

人間が生まれてくる生年月日が1日違えば、干支も^{こと}異なり、人体図も^{ちが}違ってきます。

地球上の万象^{ばんしょう}のなかで、五行^{ごぎょう}（木火土金水）を備えているのは人間だけです。

それゆえ、算命学の考え方は、人間以外には原則としてつかえません。

馬や犬や猫など、ほかの動物は、五行を備えていないからです。

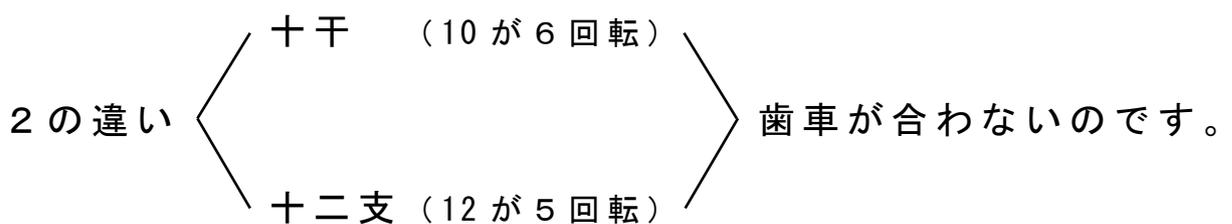
「十干」と（十二支）の組み合わせで「六十干支」ができるわけですから、どうしても、**2**という数字の違いができます。

『陽神』 10 が 6 ⇒ $10 \times \text{6} = 60$

『陰神』 12 が 5 ⇒ $12 \times \text{5} = 60$

10と12そして5と6の合わない部分に^{だきょうてん}妥協点を見いだしたわけです。しかし〔^{ひず}歪み〕が^{しょう}生じました。その〔ひずみ＝ゆがみ〕の妥協点を天中殺と名称したのです。 参照⇒【初年】 6 3 回目【天中殺の心得（1）】 07

『陽神』は「天気」です。『陰神』は（地気）です。



歯車が^か噛み合わなくても、人間が生まれて生活しています。その合わない部分が、個人の毎日の生活に影響を与えて働きかけて来る。と算命学は考えています。その^{そご}齟齬の部分が「天中殺」です。

参考：齟齬〔物事がうまくかみあわないこと〕

〔たとえば〕 日干支が「^{こうぼくのうまび}甲 午」の人は、辰巳天中殺です。日干支が「^{しんきんのうしど}辛 丑」の人も辰巳天中殺です。

宿命（1）辰巳天中殺

31	甲 ○ ○	38	辛 ○ ○
辰	午 ○ ○	辰	丑 ○ ○
巳		巳	

辰巳天中殺というグループの人は、「甲午」から始まって「^{きすいのうぼく}癸 卯」までのあいだはすべて **辰巳天中殺** です。

甲木ではじまる

天中殺表

① 寅 51	甲 辰 41	甲 午 31	甲 申 21	甲 戌 11	甲 子 1
乙 卯 52	乙 巳 42	乙 未 32	乙 酉 22	乙 亥 12	乙 丑 2
丙 辰 53	丙 午 43	丙 申 33	丙 戌 23	丙 子 13	丙 寅 3
丁 巳 54	丁 未 44	丁 酉 34	丁 亥 24	丁 丑 14	丁 卯 4
戊 午 55	戊 申 45	戊 戌 35	戊 子 25	戊 寅 15	戊 辰 5
己 未 56	己 酉 46	己 亥 36	己 丑 26	己 卯 16	己 巳 6
庚 申 57	庚 戌 47	庚 子 37	庚 寅 27	庚 辰 17	庚 午 7
辛 酉 58	辛亥 48	辛 丑 38	辛 卯 28	辛 巳 18	辛 未 8
壬 戌 59	壬 子 49	壬 寅 39	壬 辰 29	壬 午 19	壬 申 9
② 亥 60	癸 丑 50	癸 卯 40	癸 巳 30	癸 未 20	癸 酉 10
子 丑	寅 卯	辰 巳	午 未	申 酉	戌 亥
12・1	2・3	4・5	6・7	8・9	10・11

癸水でおわる

天中殺が誕生するには、決して1つの干支だけでは誕生しません。グループ単位です。どのグループも必ず「甲木」から始まって「癸水」で終わります。

辰巳天中殺は「甲午₃₁」から「癸卯₄₀」までの干支グループです。「甲午」から「癸卯」までがグループ内です。10 と 12 の組み合わせですから、十干のグループに対しての天中殺です。

十干が 6 回転するわけですから……天中殺範囲は (6×2) で 12 あるわけです。

☞ 天中殺は単独ではなくグループ単位です。

参考：グループ [共通点をもつ人の集まり。集団。]

☞ グループを例えていえば……宿命（2）船①

甲午 から 癸卯
甲午～癸卯のグループはおなじ船に乗っているようなものです。

おなじ船に乗って、^{いっしょうがい} 一生涯（生まれてから死ぬまで）船旅を続けていくわけです。

天中殺がグループで生まれるものですから、天中殺はグループ内^{ない}で影響し合います。

つまり、自分の天中殺がグループ内の誰かに影響を与えます。そしてグループの誰かの天中殺が自分に影響するわけです。

グループという意味でいえば、1番自分にとって、必要で大切なグループ（集団）は家族になります。そうしますと、家族のうちのだれか一人の天中殺が家族の人たちに影響を^{およ}及ぼします。それは天中殺が集団でつくり出されたからです。

グループに影響しますから、夫の天中殺は、必ず、妻に影響し、妻の天中殺は必ず夫に影響します。そして子供がいれば、子供の天中殺は、親に影響し、親の天中殺は子供に影響します。親から子、子から孫へと……すべての家族に影響を^{およ}及ぼすわけです。

参考：及ぼす〔ある範囲に行き渡らせる。〕

〔周辺に働きかけて、一定の効果や影響を与える〕

① 夫婦の天中殺。

〔たとえば〕 ㊦ というご夫婦は、夫の天中殺で結婚しました。妻が「夫が天中殺の影響を受けて困ってしまうわ……」と言って、自分には関係ないと思ってもそうはいかないのです。

特に夫婦は家庭をつくる共同作業がありますから、相手だけが悪いというわけにはいきません。

夫が天中殺に入っていたら、必ず妻も影響を受けます。妻が天中殺に入れば、夫にも影響します。もし、どちらかの天中殺のときに、この2人が結婚したとすれば、大きな問題を残すことになります。

天中殺で結婚していなくても、ご夫婦のどちらかの天中殺がまわってくれば、当然ですが夫婦の両方に影響します。

通常は、夫の天中殺と妻の天中殺がボタンの掛け違いのように、ずれているのがよいのです。

つまり、夫は戌亥天中殺で、妻が午未天中殺とか、おなじ天中殺でないほうがよいです。

ねん
年の天中殺（年天中殺）^{ねんてんちゅうさつ}は 12 年間のうちで、2 年間で
天中殺範囲になりますから、ご夫婦で天中殺が異^{こと}な
れば、12 年間のうち 4 年間は夫婦のあいだに天中殺
が影響することになります。

そうしますと、夫も妻もおなじ天中殺「同一中殺」^{どういつちゅうさつ}で
あれば〔12 年間のうちで 2 年間だけで済む〕と考えて
しますが、天中殺の中身が違います。

夫婦がおなじ天中殺範囲ということは、同一期間に
中殺がまわって来ます。

2 年得^{とく}したと思っても重^{かさ}なる分^{ぶん}の禍いがでます。

〔たとえば〕夫婦の一方が風邪を引いても、一方が
罹^{りかん}患していなければ看病できますが、2 人とも風邪
を引いたら、助け合うことができません。

そのように考えるとよいでしょう。

「戌亥天中殺」⇒ 甲子 ～ 癸酉 までのグループ

「申酉天中殺」⇒ 甲戌 ～ 癸未 までのグループ

「午未天中殺」⇒ 甲申 ～ 癸巳 までのグループ

「辰巳天中殺」⇒ 甲午 ～ 癸卯 までのグループ

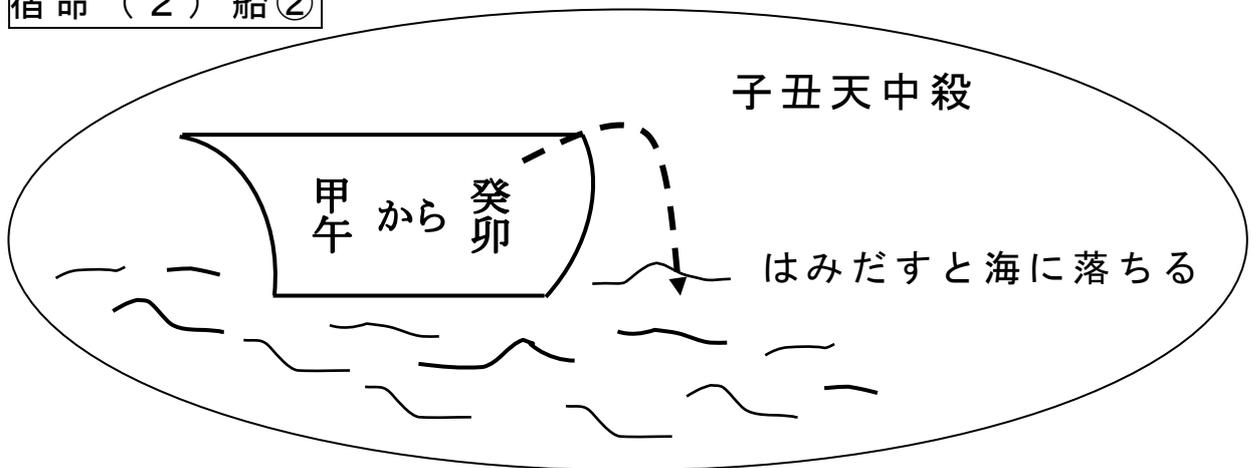
「寅卯天中殺」⇒ 甲辰 ～ 癸丑 までのグループ

「子丑天中殺」⇒ 甲寅 ～ 癸亥 までのグループ

前頁のように、6つの天中殺グループがあります。それぞれの中殺範囲が、別々の舟に乗って、人生の旅を続けているわけです。 🔍 天中殺表で確認ください。

甲寅 51 ~ **癸亥 60** の人は、子丑天中殺です。グループ全員が天中殺に囲まれています。

宿命（2）船②



この船は「子丑天中殺」に囲まれています。子丑天中殺を海にたとえると、「甲寅」～「癸亥」のグループから、はみ出してしまうと、海に落ちてしまいます。

つまり……天中殺で物事を起こすということは、「このグループからはみ出して別行動をする」ということです。

〔天中殺で結婚する〕〔天中殺で家を建てる〕〔天中殺で子供を生む〕それは“はみ出す”ことを意味します。

※ ほかにさまざまな事象があります。

^{あいしょう}相性ということではいえば……〔おなじ船に乗っている者同士のほうが相性が良く〕〔違う船に乗っている者とは相性が悪い〕と考えるてしまうわけです。

確かにおなじグループという意味では、相性が良いです。しかしそれが『本当に良いのか、悪いのか』という話は別です。

〔たとえば〕夫婦 2 人だけが、この世にいるのなら相性が良いといえます。

しかし、夫婦 2 人だけで世のなかを渡っているのではないはずで

子供もいるでしょうし、両親もいます。

生活をするには、ほかの人達と接しなければ生きていけないのです。

^{ほ か}他人との関わりのなかで人間は生かされています。そして、社会ではほかの人たちに影響を与えている存在が人間です。

このように考えていただきたいのです。

② 天中殺の結婚。

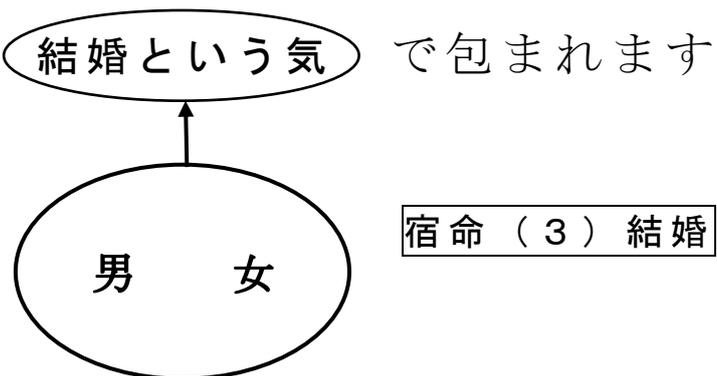
結婚したとき、男女のどちらか一方が天中殺状態であれば、相手側も天中殺の結婚になります。

つまり、夫の天中殺で結婚すれば、妻になる女性も天中殺で結婚したことになります。

☞ ここでは天中殺に関係なく考えます。

男性と女性が結婚して夫と妻になります。

そうすると **結婚という気** で包まれます。



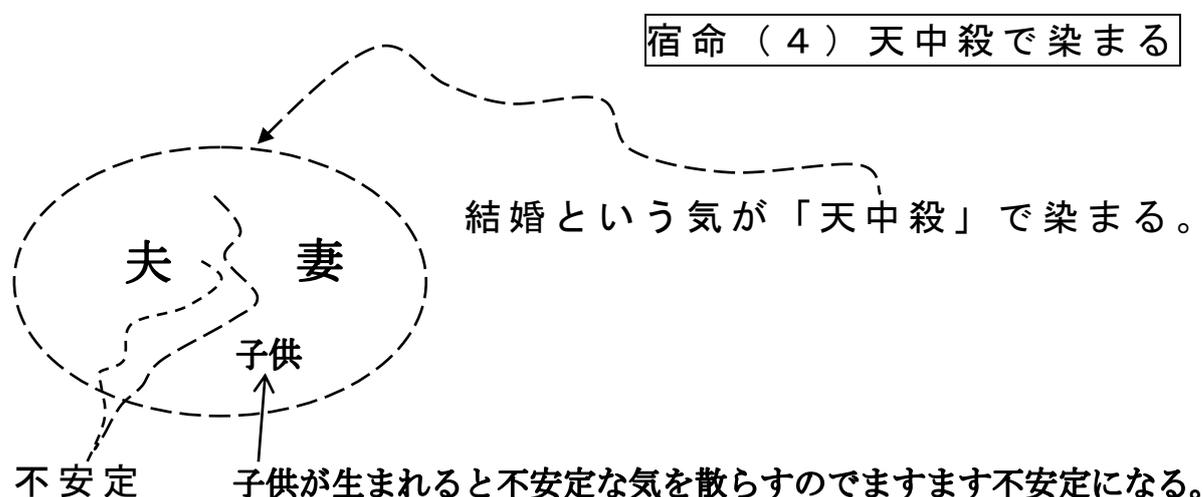
結婚という気 でつまれるということは、結婚という気で保護されることにもなります。

（彼女は自分の妻です）（彼は自分の夫です）と人様に紹介します。

これは（自分たちは結婚という気で保護されている）ということであり、社会の認知度^{にんちど}も違います。

ところが、夫となる男性の天中殺で結婚しますと、結婚の気が天中殺で染^そまります。

妻のほうが『私は天中殺ではないわよ』といっても、夫の天中殺の気で包まれますから影響します。



離婚すれば **結婚の気** は消えて無くなります。

天中殺で結婚すると、天中殺の気で包まれますから、結婚の気が非常に不安定になります。

男性・女性…どちらの天中殺で結婚しても **結婚の気** が不安定・不完全になりますから壊れやすいです。

つまり、結婚を保護している気が弱いので、チョットとした刺激に反応します。壊れないように保つためには、夫婦どちらにしても、何倍もの苦労が必要になります。

夫の天中殺で結婚したら、妻のほうも大変です。
妻の天中殺で結婚したら、夫のほうも大変です。

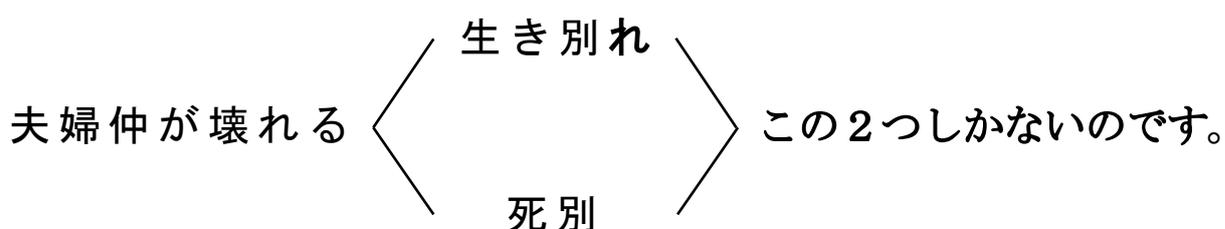
そして、子供ができると不安定な気をますます散らして壊す作用をします。

安定させるようにしません。

もし、天中殺で結婚したら、子供は生まないほうがよいともいえるのです。

（夫婦のあいだを保とうとするのであればです。）

夫婦の仲はどうでもいい、早く壊したほうがよいと思っているのなら、早く産んだほうがよいですね。天中殺の結婚は、もともと結婚そのものが壊れやすいので、子供ができるとより壊れやすくなります。



☞ 夫の天中殺で結婚したから〔夫のほう死ぬ〕ということは成り立ちません。

〔妻が死ぬ〕ということも当然起こります。

☞ 妻の天中殺で結婚して、夫が先に死んだのは、

かつしんたろう 勝新太郎（男優）と なかむらたまお 中村玉緒（女優）です。 ➡

✽ 勝 新太郎 1931(s6)-11-29 1997-6-21 [65歳没]

	戊	己	辛		調舒星	天堂星	8 戊戌
午	子	亥	未		司禄星	禄存星	18 丁酉
未		甲	丁		天報星	石門星	28 丙申
			乙				38 乙未
	妻 癸	壬	己				48 甲午
			生年中殺				58 癸巳
							68 壬申

✽ 中村 玉緒 1939(s14)-7-12

	庚	辛	己		玉堂星	天報星	9 壬申
寅	戌	未	卯		石門星	牽牛星	19 癸酉
卯	辛	丁			天堂星	石門星	29 甲戌
	丁	乙					39 乙亥
	戊	己	乙	夫中殺			49 丙子
			生年中殺				59 丁丑
							69 戊寅
							79 己卯
							89 庚辰

勝新太郎 ⇒ 結婚 1962(s37)「壬寅」 3-7〔30 歳〕

1997(h9)「丁丑」 6-21〔65 歳没〕

中村玉緒 ⇒ 結婚 1962(s37)「壬寅」 3-7〔22 歳〕

2 人は 1962(s37)「^{じんすいのとらぼく}壬寅」の^{とし}年に結婚しました。
1962 年は（^{とらどし}寅年）です。妻の天中殺の年です。

勝新太郎は多額の借金を抱えて破産したり、麻薬で逮捕されたり、さまざま問題を起こした人物です。

中村玉緒さんは、夫が他界した^{あと}後、^い生き^い生きと仕事をしていたようです。

中村玉緒さんの「生年中殺」のなかに夫の勝新太郎がいますから、彼女は夫中殺の宿命です。

結婚は人生最大のお祝い事です。

自分の天中殺で〔結婚する〕〔結婚しない〕か……
それによって、自分の人生も変わりますし、相手の人生も変わります。

結婚したときが天中殺であれば、寿命が^{ちぢ}縮んだり、^の延びたりもします。

✽ ^{ごう}郷ひろみ 1955(s30)-10-18

	壬	丙	乙		調舒星	天印星	4 戊戌
寅	子	戌	未	石門星	司禄星	調舒星	14 丁酉
卯		辛	丁	天将星	禄存星	天南星	24 丙申
		丁	乙				34 乙未
	癸	戊	己				44 甲午
							54 癸巳
							64 壬申
							74 辛未

✽ ^{にたにゆりえ}二谷友理恵 1964(s39)-11-16

	己	乙	甲		牽牛星	天堂星	4 甲戌
戌	巳	亥	辰	調舒星	牽牛星	禄存星	14 癸亥
亥	戊	甲	乙	天将星	車騎星	天報星	24 壬申
	庚		癸				34 辛未
	丙	壬	戊				44 庚午
							54 己巳
							64 戊辰
							74 丁卯

七殺

生月中殺

⇒ 1987「丁卯」6-12 ⇒ 郷ひろみと二谷友理恵の結婚披露宴は〔現・新高輪プリンスホテル〕で催されました。郷ひろみは寅卯天中殺です。自分の天中殺の結婚です。郷ひろみ 1998「戊寅」4月に自分の天中殺で離婚。

郷ひろみの天中殺で結婚して、本人の天中殺で離婚しています。女の子が2人生まれています。天中殺の結婚でもともと不安定な気で包まれている結婚の気が…子供が生まれるたびに“ひび割れ”を起こして壊れ、つぎの天中殺がまわってきたときの（約11年間）で破局になりました。

⇒ 天中殺で結婚すると破局になるのか……？

天中殺での結婚は、夫か妻のどちらかが、一方的に我慢しなければならないのです。

郷ひろみが我慢するか、二谷友理恵が我慢するかのどちらかです。お互いの自己主張が強ければ、強いほど結婚は壊れます。

端的に言えば、この2人は陰占でも世界が違います。

二谷友理恵の人体図は〔牽牛星〕〔牽牛星〕〔車騎星〕が縦線で並んでいます。そして自分（主星）と夫の場所（第一命星）

が七殺ななきつです。お互いに我慢できません。

③ 夫か妻の天中殺のとき ⇒ 夫と妻の^{こころもち}心持ち。

〔たとえば〕2022年「^{じんすいのとら}壬寅」と2023年「^{きすいのう}癸卯」は寅卯天中殺の年ですから、寅卯天中殺をもつ夫、あるいは、寅卯天中殺をもつ妻が知っておくべきことです。参考：心持ち〔気のくぼり方。心づかい。〕

夫と妻は対等ですが、どちらかが主導権を握っています。主導権を握っている人が天中殺に入ると——相手に影響を与える度合いが大きいのです。

☞ 夫が一家の主導権を握っている場合は、夫が天中殺に入ると、夫の天中殺が一家に影響を及ぼします。そのとき妻は我慢しなければなりません。

☞ 妻が一家の主導権を握っている場合は、妻が天中殺に入ったら、夫は我慢する^{ひつよう}必要があります。

参考：必要〔物事が成立するために、欠くことのできないこと。〕

どうしてなのかといえど……天中殺に入っている人というのは、自分自身の気が不安定なので、第三者の忠告、相手の忠告を聞かないことが多いのです。また、天中殺中に相手に忠告したとしても、天中殺に入っている人には正しく理解されません。

④ 夫婦が同一中殺。
どういつちゅうさつ

① おなじ天中殺「同一中殺」をもつ2人が、自分たちの天中殺で結婚した。

「同一中殺＝おなじ天中殺」は夫婦ともに子丑天中殺とかです。

② 2人は自分たちの天中殺で結婚していません。

しかし、この2人は「同一中殺」の宿命です。

このような場合、二通りの考え方をしないとはいけません。天中殺に焦点を絞って話をします。

同一天中殺は“おなじ船に乗っている”という意味では、相性は良い（仲がよい）わけです。

相性が良いといっても、いつという限りもなく相性がよい。ということにはならないのです。

同一中殺は天中殺の周期的な動きが同一（おなじ）なので（上がったたり下がったりする律動があるとすれば2人で上がり、2人で下がります）その意味で相性が良いとなりますが……ここに問題があります。

ご夫婦が一生という長い人生の旅を続けるときに、夫の運勢が下がったときに、一緒に妻も下がったら、

その夫婦のあいだで〔お互いを支えるものが無くなる〕という考え方をします。

同一中殺は結婚後の長い人生を歩む夫婦間において、お互いを^{ささ}支^あえ合うものが無い状態です。

人生の^{みちのり}道程はよいときばかりではないわけです。夫の運が悪いときに、妻の運勢も悪いということは、2人にとってよくないことだと考えています。

どちらかといえば、〔夫の運勢が悪いときに、妻の運勢は悪くない〕その反対に〔妻の運勢が悪いときに夫の運勢は悪くない〕ということであれば、お互いに支え合うことができると考えています。

それゆえ〔仲がよい〕〔相性がよい〕ということと、夫婦として人生行路を^{じんせいこうろ}順調に^{たも}保^もつていけるのか……いけないのか、それは別の話になるのです。

参考：人生行路〔人間の一生を予測できない旅にたとえたことば。〕

夫が病気になり、妻も病気になったとしたらどうなりますか？ 一家が成り立たないこととなります。

その意味では、同一中殺（おなじ天中殺）の夫婦は、結婚生活を維持していくためには良くないのです。まずは——そのことが前提にあります。

それに加えて——自分たちの天中殺が寅卯天中殺であれば、（寅）あるいは（卯）の年に結婚することは（つまり寅卯天中殺のときに結婚することは）結婚の気を天中殺という不完全を2人が共同してつくることになります。（不完全なものにしてしまいます。）

「結婚はまとまるのが本意であり完全な姿です。」

「離婚は壊すという不本意・不完全な姿です。」

物事を不自然・不完全な姿にする天中殺で結婚するのは、離婚するために結婚するようなものです。

参考：本意〔本来の意志〕

天中殺というのは、自分が天中殺で困ったときに、自分の天中殺の禍を相手に分け与えることができます。そこに特徴があるのです。

それゆえ、夫婦の一方が天中殺になれば、相手もその影響を受けるわけです。

ということは、同一中殺で寅卯天中殺というおなじ天中殺をもっている2人が、自分たちの寅卯天中殺のときに結婚したとなると、初めから離婚するために結婚したようなものです。

✽ 小柳ルミ子 1952(s27)-7-2

	己	丙	壬		司禄星	天堂星	9 乙巳
寅	酉	午	辰	鳳閣星	龍高星	石門星	19 甲辰
卯			乙	天貴星	玉堂星	天禄星	29 癸卯
		己	癸				39 壬寅
	辛	丁	戊				49 辛丑
							59 庚子
							69 己亥
							79 戊戌

✽ おおすみけんや 大澄賢也 1965(s40)-10-26

	癸	丙	乙		鳳閣星	天報星	7 乙酉
寅	丑	戌	巳	車騎星	牽牛星	司禄星	17 甲申
卯	癸	辛	戊	天南星	司禄星	天堂星	27 癸未
	辛	丁	庚				37 壬午
	己	戊	丙				47 辛巳
							57 庚辰
							67 己卯
							77 戊寅

☞ 小柳ルミ子と大澄賢也は、寅卯とらうの同一天中殺です。
1988「戊辰」年末に意気投合、1989「戊辰」1月6日入籍。
小柳ルミ子〔36歳〕大澄賢也〔23歳〕年齢差〔13歳〕
男女関係も結婚も小柳ルミ子の大運天中殺「癸卯」です。

こういう状態で結婚を維持していくのは難しいです。

（2人のあいだに子供はいません）

仲が良かったとのことですが、実態はわかりません。

夫はプライドが高くて自己主張が強くて、妻の主導権に我慢できずに離婚になったと考えられます。

同一中殺の夫婦は、仲の良いときはすごく仲が良いのですが、おなじ船に乗っていますから、ちょっと仲がこじれると、顔も見たくなくなります。

体に触れてもらいたくもないのです。

同一天中殺の夫婦はその度合いが大きいです。

そうなってしまうと、夫婦関係を維持できません。

この夫婦の場合、大澄賢也は、妻のバックダンサーで主導権は妻にあり、生活も仕事も一緒です。

大澄賢也は自己中じこちゅうの人物ですから、いつまでも妻のいいなりになってはられないのです。

⑤ 天中殺の浮気（不倫）。

天中殺に入ると、どうしても自分の意志とは関係なく情緒不安定になります。

自分の情緒不安定を相手（妻とか夫）にぶつけます。本人は情緒不安定になっている自覚をもてません。相手のほうが変わったように見えるし・おもえます。こんなはずでは……と考えるようにもなります。そうなると、ほかの異性に目を向けます。

天中殺になった男性から見て、自分の妻とは異なるタイプ選んだつもりであっても、周囲から見ると、おなじような人を選んでいきます。

そここのところが失敗や不幸につながります。相手に子供ができてしまうと、行き詰まって身動きがとれない状況にもなります。

夫の浮気の常習犯 ⇒ 松方弘樹

妻の浮気の常習犯 ⇒ 松田聖子

世の中には、男と女しか存在しませんので、結婚するのも1対1の結婚ですから、生涯相手しょうがいを変えない

いで生活するというのはなかなか難しいわけです。自分の気持ちを自制できる人でなければ難しいでしょう。あるいは潔癖症ぎみとか……。

夫が浮気するというのは、浮気される妻がいるわけです。

浮気するほうも、浮気されるほうも、その価値観はおなじだと考えています。

⑥ 別れた配偶者の天中殺とその影響。

『別れた相手の天中殺の影響を受けることはない。』

これは原則です。

2人のあいだに子供がいれば影響を受けます。

子供にとっては、自分の両親が別れようと、別れまいと、父は父であり、母は母ですから、子供を介して（通して）影響があります。

子供を介さない^{かい}ときには——関係は無いのです。

〔たとえば〕 6回結婚して、1人ずつ子供ができていたら大変です。

その場合はあきらめるしかないです。

夫婦は別れれば他人です。

（もともと他人の繋がりであったわけです。）

離婚すれば、結婚の気は壊れて、霧散^{こわ}しますから、子供がいなければ関係ありません。

参考：霧散〔霧が晴れて散るように、あとかたもなく消えること〕

【初年】 64 回目【天中殺の心得（2）】 **終わります**

つぎの授業 ⇒ 【初年】 65 回目【天中殺の心得（3）】 です。